

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-3		事業名	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)			
担当	環境局環境事業部ごみ減量推進課 有田 211-2928						
全体計画							
事業内容	白石リサイクル保管庫に代わるリサイクル収集品の保管および簡易修理のみによる市民提供(リユース事業)に活用するため、厚別清掃工場跡地に新たに「リユースプラザ」を整備する。 また、同施設を活用し、各種普及啓発活動や資源回収の充実に図り拠点化する。			<年度別の事業内容>			
				H19年度:実施設計 H20年度:建築工事及び竣工			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	リユースプラザ実施設計費総額:3,750千円 建築設計費:2,142千円 設備設計費:1,347千円 事務費:261千円			リユースプラザ建築費総額:104,000千円			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数		965個 (白石)	1,023個 (白石)	1,081個 (白石)	1,139個	1,197個	1,200個
[参考] リユースプラザ来場者数		3,268人 (白石)	4,393人 (白石)	5,518人 (白石)	6,643人	7,768人	8,000人
[参考] リフォーム教室などへの参加者数		-	-	192人	384人	400人	400人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 平成16年度より同会場においてリユース家具などの展示提供を行い、年々市民の来場及び購入数が増えていることから、当該事業が十分市民への普及啓発事業として定着しつつあると判断されたことから、新たな場所において本格的に実施するものとした。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力]- [人材協力]エコイベントなどを通じ、地域の市民団体及びNPOなど参加により地域での当該事業への支援が図られつつある。 [情報協力]- [その他の協力]- 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各種啓発教室の開催、エコイベント会場として市民団体・NPO・学生団体などへ活動拠点としての利用開放。</p>							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-3		事業名	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)			
評価(成果)			課題				
<p>啓発事業の他に、多目的な施設として各種イベントを開催することにより、施設の有効利用が図れると同時に、イベントを通じ市民のコミュニケーションを図りながら、持続可能なごみ減量意識の醸成が期待できる。また、資源回収の拠点として施設を活用できることから循環型社会の構築が期待できる。</p> <p>市民が直接不要となった家具などを持ち込むことが出来る場所を提供することにより、リユース品の提供に係るコストの削減が期待できる。</p>			<p>札幌市では同内容の施設が厚別区と西区の2ヶ所となることから、今後は、2館で協力を図りながら多様な普及啓発事業の展開を検討する。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>施設を、市民が主催するエコイベントなどに施設を利用させることで、市民の環境への取り組みの支援並びに、市民活動の拠点として施設の有効活用が期待できる。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	2,700	75,000	0	0	77,700	
	財源内訳	国・道支出金	1,080	30,000	0	0	31,080
		市債	1,134	31,500	0	0	32,634
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	486	13,500	0	0	13,986
予算	事業費	2,700	104,000	-	-	106,700	
	財源内訳	国・道支出金	1,080	41,600			42,680
		市債	1,134	0			1,134
		その他	0	0			0
		一般財源	486	62,400			62,886
実績	事業費	3,750	-	-	-	3,750	
	財源内訳	国・道支出金	1,500				1,500
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	2,250				2,250
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				138.7%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
<p>当該施設の有効活用を図るため、施設の通年利用を可能とするために展示場内の断熱施工及び、環境に配慮した省エネ型ハイブリット街灯などを導入した。</p>							